

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年 6月 25日	
大阪府知事 殿	
提出者 住 所 大阪府柏原市円明町888-1 株式会社 メイワパックス 氏 名 代表取締役 増田 淳 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号050-3821-6845	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 メイワパックス大阪本社・工場
事業場の所在地	大阪府柏原市円明町888-1
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	18 プラスチック製品製造業
②事業の規模	300億円
③従業員数	210人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項											
(管理体制図) 別紙2											
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（6年度）実績】			①現状				①現状			
	産業廃棄物の種類	廃プラ	汚泥（ニッカリコ）	管理型混合廃棄物	汚泥（製品不良）						
	排出量	1018 t	3 t	3.0 t	5 t	0 t	0 t	t	t	t	t
(これまでに実施した取り組み) 分別を実施し排出部署ごとの数量を管理する。											
②計画	【目標】			②計画				②計画			
	産業廃棄物の種類	廃プラ	汚泥（ニッカリコ）	管理型混合廃棄物	汚泥						
	排出量	1018 t	3 t	3 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組) 上記に加え下記事項を実施する。 排出抑制につながる新規技術や方法等あれば随時検討する。											
産業廃棄物の分別に関する事項											
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 専ら物 廃プラ、引火性廃油、その他（混載）に分別										
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 排出される廃棄物の性状及び物量等が変化した場合に変更する。										

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項					自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
①現状	【前年度（6年度）実績】		①現状					①現状				
	産業廃棄物の種類	廃プラ										
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) 再利用できる物は再利用する。											
②計画	【目標】		②計画					②計画				
	産業廃棄物の種類	廃プラ										
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 生産工程において最利用する必要があるように改善できる方策等が具体的、技術的に採用可能であれば採用する。											
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項					自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
①現状	【前年度（6年度）実績】 なし		①現状					①現状				
	産業廃棄物の種類	なし										
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組) なし												
②計画	【目標】 なし		②計画					②計画				
	産業廃棄物の種類	なし										
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組) なし												

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
①現状	【前年度（6年度）実績】 なし		①現状			①現状		
	産業廃棄物の種類							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組) なし								
②計画	【目標】		②計画			②計画		
	産業廃棄物の種類							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組) 実施の予定なし								
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			産業廃棄物の処理の委託に関する事項			産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
①現状	【前年度（6年度）実績】		①現状			①現状		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	汚泥（ニッカリコ）	管理型混合廃棄物	汚泥（製品不良）			
	全処理委託量	1018 t	3 t	3 t	5 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1018 t	3 t	3 t	4.5 t	t	t	t
	再生利用者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組) RPFへの加工処理等産廃の最終埋め立て処理等が少なく環境負荷の少ない処理方法等を採用している業者に委託する。								

	【目標】			②計画				②計画			
	産業廃棄物の種類	廃プラ	汚泥（ニッカリコ）	管理型混合廃棄物	汚泥（製品不良）						
②計画	全 処 理 委 託 量	1018 t	3 t	3.0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	1018 t	3 t	3 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) できるかぎり優良認定処理業者に委託する。										
※事務処理欄											

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理の工程(別紙1)

製造工程

印刷 → ラミネート → 検品 → スリット → 包装梱包 → 出荷

廃プラ

↓
廃プラ

混載 管理型混合廃棄物
汚泥

↓
混載 管理型混合廃棄物
汚泥



